

ウェットスーツをより快適に使用するために。

クロロプレン

ネオプレン

お手入れポイント9

ウェットスーツ素材のライフジャケットやグローブ・シューズもぜひこの要領でお手入れをしてみてください。ウェットスーツは非常にデリケートな素材(ネオプレンゴム)なので、日々のお手入れがとても大切です。面倒でも使用後は必ず水洗いし乾燥させることで本来の着心地が持続します。

①ウェットスーツは手洗いで!



洗濯機、乾燥機、漂白剤は厳禁です。生地を傷め変色・型くずれの原因になります。使用後は水かぬるま湯で、やさしくもみ洗います。バスタブなどでつけ洗ひもお勧めです。またカラフルなウォーターボックスは移動、収納、洗濯に使えてとても便利です。

②塩分をしっかりと落とそう!



塩分は生地を硬化させ傷めます。ファスナー部分も塩分や砂が残りますので忘れずに洗いましょう。手洗ひ後は、裏面を表にハンガーに吊るした状態で、風通しの良い日陰で干しましょう。乾いたら表面に変え干し直しましょう。

③ファスナー部分は折り曲げない!



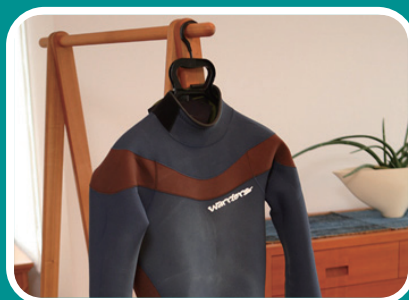
ハンガー干しが難しい場合は物干し竿にかけて干します。この時にファスナー部分を曲げないようにしましょう。

④直射日光NG!



乾きが速そう早く乾かしたいという思いから、日が当たる場所を選びがちですが、これは注意して下さい。ウェットスーツの生地(ゴム)を傷めてしまうので絶対禁止です。

⑤必ず吊るして保管する



肩部分に負担がかからないように肩幅が広く太いハンガーに吊るします。できるだけ着用時と同じ状態での保管になるように、ファスナーはしっかりと閉めてください。折りたたんでの保管は生地を傷めてしまうので絶対に行わないでください。

⑥太いハンガーを使用する



肩部分の生地を傷めないために太いハンガーを使用しましょう。太めのハンガーはウェットスーツの内側に空気の流れができ乾燥も早くなります。

⑦冷暗所に保管する



ウェットスーツは大部分がゴムでできています。気温の変化が激しい場所や日光の当たる場所での保管は生地の劣化の原因になってしまうので、冷暗所での保管をしましょう。

⑧衣類とは別に保管する



多くのウェットスーツに使われている、クロロプレンゴムと衣類が反応して衣類が変色する場合がありますのでご注意ください。

⑨熱いお湯はNG!



熱いお湯は生地の劣化、接着面のはがれを招く場合がありますので絶対にNGです。ウェットスーツを着たままの熱いシャワーもウェットスーツにとっては良くないのでご注意ください。

お手入れに役立つ便利グッズ



ウォーターボックス
商品番号 OH720 税抜 ¥ 3,600



洗剤と柔軟剤のオールインタイプ
ウェットスーツ専用洗剤
商品番号 OA-01 税抜 ¥ 2,400



ウェットスーツハンガー
商品番号 R2H 税抜 ¥ 2,300



マルチシューズハンガー
商品番号 MT277 税抜 ¥ 800